

秋田県立衛生看護学院 令和3年度自己点検・自己評価結果

令和3年度の自己点検・自己評価を令和4年2月から3月にかけて実施しました。
各点検項目を職員21名（教務部（保健科・助産科・看護科）17名、事務部4名）で点検しました。結果は次のとおりです。

<調査項目>

I	教育課程・教育活動	16項目
II	学校運営	5項目
III	学生支援	3項目
IV	教育環境	7項目
V	学生の受入募集	3項目
VI	学修成果	3項目
VII	社会貢献	3項目

評価基準 3：当てはまる 2：やや当てはまる 1：当てはまらない 0：わからない

<概要>

I からⅦまでの調査項目の評価基準の平均値は下図のとおりです。I からⅥまでの評価は、2.4～2.8 で概ね良好であると思われます。Ⅶ社会貢献は 2.0 となっています。各調査項目についてです。

I	教育活動は、教育理念、目的、目標と整合性があると評価している。評価体制等も問題ないと評価されている。自己研鑽、相互研鑽のシステムや臨地実習での指導者と教員との協力体制について、十分でないと評価されており、今後状況を把握し環境を整えていくことが必要と考える。
II	概ね円滑に運営されていると評価されている。
III	就職や進学、経済面、健康面に対する学生支援体制は概ね整えられていると評価されている。
IV	概ね整えられていると評価されているが、Wi-Fi 設備の不足、冷暖房の調整不足への要望があり、今後整備、改善を検討していく。
V	概ね良好に実施されていると評価されている。
VI	国家試験合格率は保健科・助産科・看護科100%であった。 就職・進学についても学生の希望がほぼかなえられていると評価されている。
VII	評価が低いのは、コロナ禍により、学生のボランティア活動等の要請もほとんどなかったことなどが影響していると考えられる。今後は学院として地域にどのような貢献ができるか検討し、取り組んでいきたい。

